

平成31年4月4日

各位

九州大学 大学院農学研究院 資源生物科学部門
動物・海洋生物科学講座 畜産化学分野 教授候補者選考委員会
委員長 飯田 弘

九州大学 大学院農学研究院 資源生物科学部門
動物・海洋生物科学講座 畜産化学分野
教授候補者の推薦について（依頼）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本選考委員会は下記のとおり大学院農学研究院 資源生物科学部門動物・海洋生物科学講座 畜産化学分野教授候補者を公募することになりました。つきましては、適任者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職・人数

教授・1名

2. 所属・専門分野

今回採用する教授は、大学院農学研究院 資源生物科学部門動物・海洋生物科学講座に所属し、大学院生物資源環境科学府 資源生物科学専攻 動物・海洋生物科学教育コース、および農学部生物資源環境学科 動物生産科学コース アニマルサイエンス分野担当教員となります。

当該職が担当する畜産化学分野は、家畜生体機構学分野、動物繁殖生理学分野、代謝・行動制御学分野、家畜生産生態学分野、海洋生物学分野、水産増殖学分野、水産生物環境学分野、アクアフィールド科学分野とともに動物・海洋生物科学講座を構成し、陸圏と水圏における良質な動物性タンパク質の持続的安定供給ならびに動物資源生存環境の保全を目的として、動物生産の基盤である生命現象の生理学的解明、動物体に含まれる機能性物質の探索と健康科学への応用、環境と調和し生態系に配慮した動物生産システムの構築、多様な動物資源の生存環境保全と高度利用を支える植物基盤の整備等、動物資源の生産環境生命科学に関する諸問題を多様な視点から解明するための教育研究を推進しています。また担当する大学院教育コースにおいては、これらの研究に関連する基礎、および応用研究開発に携わる人材を組織的に養成するための教育を進めています。

当該部門、当該講座の目標を実現するにあたっては、良質な動物性タンパク質の供給源である畜産物（主に食肉、乳、卵）の持続的安定供給を目的として、特に、その重要な基盤となる食肉生産科学ならびに食肉製品製造・利用科学に関する教育研究が不可欠である。

その中でも、

- 1) 食肉生産性（食肉の生産量と品質）の向上に向けた骨格筋の生命科学に関する研究の展開
- 2) 食肉・食肉製品の加工・利用特性と骨格筋特性との関係性の解明およびその栄養機能的制御法の開発

- 3) 食肉の加工・利用特性に関わるタンパク質生化学、化学、物理学などを包含する食品科学の発展を推進しうる方を求めています。

3. 採用予定時期

教授会承認後可能な限り早い時期

4. 応募資格

博士の学位を有するとともに、上記の領域1)～3)において優れた業績と該博な識見を有し、学部、および大学院担当教員として学生の教育や研究指導に熱意をもって取り組む方。

5. 担当授業科目

(1) 大学院

・大学院修士課程

(資源生物科学専攻動物・海洋生物科学教育コース)

筋肉・食肉科学特論、動物・海洋生物科学プロジェクト演習、動物・海洋生物科学演習第一、動物・海洋生物科学演習第二、動物・海洋生物科学ティーチング演習、動物・海洋生物科学演示技法、インターンシップ、国際交流演習、国際交流実践演習、動物・海洋生物科学特別研究第一、動物・海洋生物科学特別研究第二 等

(国際コース)

Food Science and Food System

・大学院博士後期課程

(資源生物科学専攻動物・海洋生物科学教育コース)

動物・海洋生物科学特別実験、ティーチング演習、国際演示技法、インターンシップ、国際交流演習、国際交流実践演習、動物・海洋生物科学特別講究、動物・海洋生物科学特別演習 等

(2) 学部

(動物生産科学コースアニマルサイエンス分野)

動物性食品製造学、畜産食品化学工学、卒業研究、科学英語、畜産化学実験、基礎化学実験、実地見学、動物生産科学概論、農学入門Ⅱ 等

(国際コース)

Utilization of Animal and Marine Resource

(基幹教育科目)

分子生物学 等

なお、英語による授業、および研究指導も担当して頂きます。

6. 提出書類

(1) 略歴書

(2) 業績目録

I 原著論文(本人の氏名にアンダーライン、本人が責任著者の場合は*)

(著者名、題名、掲載雑誌名、巻、号、頁、発行年、最新のIF)

(i) 査読付雑誌、(ii) 査読なし雑誌、(iii) その他 で区分すること

- II 著書（著者名、題名、発行所、頁、発行年）
- III 総説・解説等（著者名、題名、掲載雑誌名、巻、号、頁、発行年）
- IV 特許（発明者名、発明の名称、特許番号もしくは特許出願番号、特許登録もしくは特許出願年月）
- V 学会での受賞（受賞者名、賞の名称、受賞内容、学会名、受賞年月）
- VI 国際学会等招待講演（講演者名、講演題目、講演学会名、講演年月）
- VII 外部資金導入実績（名称、研究課題名、期間、金額、代表・分担の別を記す）
- VIII 教育実績：担当授業科目、学位（博士）論文審査実績（主査・副査担当数）等
- IX その他（資格等）

(3) 主要論文の別刷りまたはその写し（5編）

(4) これまでの研究の概要と今後の研究に対する抱負（1,500字以内）

(5) これまでの教育の実績と今後の教育に対する抱負（1,500字以内）

教育実績のない場合、今後の教育に対する抱負

(6) 上記（1）、（2）、（4）、（5）のWord形式の書類とPDF化した書類を保存したUSBメモリー

(7) 推薦書

自薦の場合：自薦書、および応募者の教育・研究等について問い合わせのできる方2名の氏名および連絡先

他薦の場合：推薦書（2通）

7. 面接等

審査の過程で面接を行う場合があります。その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担と致します。

8. 勤務地

伊都キャンパス（福岡市西区元岡744）

9. 提出締切

2019年5月10日（金）必着

10. 提出書類の送付先

〒819-0395

福岡市西区元岡744

九州大学 大学院農学研究院

動物学分野

（畜産化学分野教授候補者選考委員会）

委員長 飯田 弘

電話：092-802-4567

E-mail：iidahiro@agr.kyushu-u.ac.jp

書類は、応募書類在中と朱書きの上、書留またはそれに準ずる送付記録が残る方法で提出のこと。

11. その他

- (1) 九州大学では、男女共同参画社会基本法（平成 11 年法律第 78 号）の精神に則り、教員の選考を行います。また、「障害者基本法（昭和 45 年法律第 84 号）」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和 35 年法律第 123 号）」および「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）」の趣旨に則り、教員の選考を行います。
- (2) 九州大学では、平成 29 年 7 月より配偶者帯同雇用制度を導入しています。
- (3) 本研究院、学府、学部等の教育研究概要等は、ホームページ
(<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp>) を参照してください。
- (4) 送付された資料は返却いたしません、選考以外の目的には使用しません。
- (5) 給与等についての問い合わせ先：
九州大学農学部庶務係（電話：092-802-4505）